

校長室から

ひがしなら通心

(H30年度)

茨木市立東奈良小学校 川上 隆 No. 52

平成31年1月29日(火)発行

見守り隊の方より

No.47に載せた作文(ボランティア)の返事をいただきました。

ありがとうございます。

心温まるやさしい作文を読ませていただきました。

私達が見守っていると思っておりましたが、実は皆さんが私達の体調を心配して下さいに思い到りました。

- ・私たちの事をこんなに思ってくれてるんだね。
- ・涙が出たわ。
- ・何回も何回も読んだヨ。
- ・大きな声であいさつをしてくれる子が多くなったね。

と、私達も話しました。

「行って来ます」と元気な声で家を出て、「ただいま」と大きな声で帰ってくる。あたりまえの事なのですが、その毎日がずーっと続きます様、私達も日々、身体に気をつけながら見守りを続けていきたいと思っております。

学校以外のどこかでも私達を見かけたら、気軽に手を振ったり声をかけて下さい。

『皆さんの笑顔を励みに』 これからもがんばりますよ。

見守り：安井、山崎、中島、三宅、増本

前の作文といい、このお手紙といい、心の通い合いを感じますね。これを機会に見守り隊や関わってくださる地域の方々と、先ずはあいさつから交わしましょう。あいさつができるようになれば、すぐに親しくなれますよ。

次の飛躍に向けて、大切にしたいこと

まだまだ寒い日が続いていますね。今年度も残すところ2ヵ月足らずとなりました。みなさんは、もうすぐ進級・進学の時季を迎えます。その準備に向け

ひ とつにみんなでまとまろう！
 が くりょくと体力をのばそう！
 し っかりせいかつしよう！
 な かよく友だちとすごそう！
 ら んらん夢に向かう東奈良っ子！

あ いさつができる子
 い っしょうけんめい勉強する子
 う んどうが好きな子
 え がおでやさしい子
 お そうじをがんばる子

て、二つの事柄を紹介します。

ひとつは、今年の干支(えと)「亥(い)」についてです。みなさんは、どのような印象をもつでしょうか。多分、「猪突猛進(ちよとつもうしん)」という言葉に代表されるように「目標めがけて一直線に突進する」とか、「なりふり構わず我が道を行く」という印象をもっている人が多いのではないのでしょうか。



しかし、調べてみると「亥」の文字には、意外な意味があることが分かりました。実は、「亥」は「草木の生命力が種の中に閉じ込められた状態を表している」とされています。草木は発芽に必要なものを種に蓄えます。そして、種は、春の芽吹きに備えて、土の中で冬の厳しい寒さに耐え、力を蓄えつつ暖かい春を待っています。そして、春の訪れとともに一斉に芽吹き、新緑の季節を喜んでいるように、その芽を力強く伸ばし成長していくのです。「亥」は十二支の中で最後にあたります。きっと、「子(ね)」から始まる新たな十二支のスタートに向けて、準備を整えることの大切さを、「亥」という干支は表しているのでしょう。

もう一つは、桜についてです。みなさんは、今の時期の桜がどうなっているか知っていますか。葉がすべて落ちて、一見すると枯れているように見えますが、桜の枝先にはもうツボミがついています。桜のツボミは、夏にすでに作られています。一度、冬の寒さに置かれずと開花しない仕組みになっているのです。とは言え、桜の小さな固いツボミが冷たい北風にさらされている姿を目にしていると、冬の寒さに耐えて、必死に春の開花に必要な力を蓄えているようにさえ見えてきます。だからこそ、春の訪れとともに満開に咲き誇る桜の花に、その美しさと力強さが、より際立って感じられるように思うのです。

さて、紹介した二つの事柄は、ともに新たな飛躍や成長のために、必要な力を事前に備えておくことの大切さを表しているように思います。新年度を飛躍の年にするためにも、短い時間を大切にして、春の芽吹きを待つ種のように、開花を待つツボミのように、新年度の新たな生活の充実に向けて必要となる力を、地道な努力で蓄えていきましょう。